

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業評価シート										平成 27 年度事後評価・決算		所管課		商工観光課		担当班	商業振興班		
事務事業名		コード	26700	商工業振興事務費		予算科目		会計		款		項		目		事業種別	☒ 主な事業		
								一般		7		1		2			☐ 国土強靱化地域計画		
施策体系	基本施策	2		商工業の振興		根拠法令		旭市補助金等交付規則									☐ 新市建設計画		
	施策の展開	4		商業の振興		戦略事業		27	商業関係団体への支援									☒ 定住自立圏構想	
	施策の展開	6		新たな地域産業の創出		戦略事業		32	異業種間交流の促進									☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 35 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		【商工会運営費等補助金】旭市商工会に運営費等の補助金を交付(支出)する事業。 ※旭市商工会は、「商工会法」に基づき設立された、市内の商工業の総合的な改善・発達の中心的な役割を果たしている経済団体。 (会員数 1,582 事業所) 【異業種間交流事業】「地域振興交流会」と題して講演会を行い、市内の経営者などが一同に会し、意見交換等を行う事業であり、例年、毎年1月に実施している。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
地元の事業者、工業者を支援することにより、地域商業の活性化を図るため。 異業種間交流事業については、経営者間の連携を図り、地域産業の活性化を図るため、平成2年より実施されている。		景気の低迷、事業所数の減少、事業主の高齢化・後継者不足問題等。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		【商工会】商工会組織の機能強化の推進(計画あり)	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算)		単位: 千円				単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)		
1. 商工会育成補助金	0			事業費	費目内訳	1. 商工会育成補助金	千円						
2. 商工会運営費	15,270	経営改善普及・指導事業費、地域総合振興事業費、管理費等				2. 商工会運営費	千円	16,847	15,270	16,834	15,270	15,270	
3. 商工会館修繕	0					3. 商工会館修繕	千円		3,000				
4. 地域振興交流会費	242	講演会講師派遣委託費、会場借上料、チラシ印刷費				4. 地域振興交流会費	千円	204	175	357	242	488	
	0						千円						
② 特定財源の内訳 (27年度の決算)		単位: 千円				事業費計 (A)		千円	17,051	18,445	17,191	15,512	15,758
1. 国庫支出金	0			事業費	財源	1. 国庫支出金	千円						
2. 都道府県支出金	0					2. 都道府県支出金	千円						
3. 地方債	0					3. 地方債	千円						
4. その他	0					4. その他	千円						
	0					5. 一般財源	千円	17,051	18,445	17,191	15,512	15,758	

前年度 増減理由	事業の縮減のため
-------------	----------

従事職員数	常時	1 人	最大	4 人	×	1 日	=	延べ	4 人
-------	----	-----	----	-----	---	-----	---	----	-----

前年度増減理由	事業の縮減のため
---------	----------

従事職員数 常時 1人 最大 4人 × 1日 = 延べ 4人

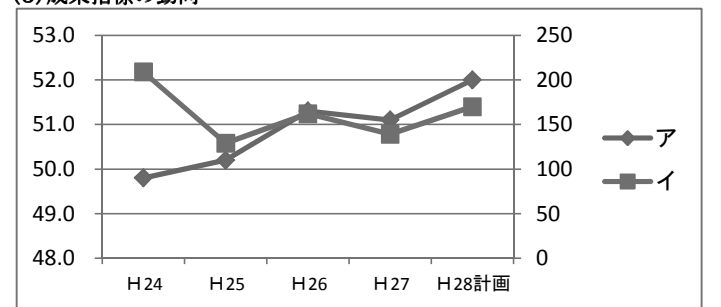
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	
	27年度実績(27年度に行った主な活動)			ア 地域総合振興事業の実施回数		回	10	10	10	10		
	・商工会への補助金交付 ・補助金要望に関する市・商工会打合せ ・地域振興交流会の実施			イ 経営指導員による相談及び指導数 (経営革新、経営一般、情報化、金融、 税務等)		件	4,622	6,113	6,606	2,196	2,200	
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	
	対象意図 ・商工会 ・市内の商工業者 ・商工会自体の組織強化(財政基盤強化)を進める。 ・市内商工業者が商工会員となる。			ア 商工会員組織率 (会員数÷市内商工業者数×100)		%	49.8	50.2	51.3	51.1	52.0	
	対象意図 市内事業者 異業種の事業者と交流する			イ 地域振興交流会への参加者数		人	209	129	162	139	170	

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
評価結果	①		
	②		
	③		
	④⑤		
	⑥		
	⑦⑧		
	⑨		
		(10)	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況		☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)			
② 成果の状況		成果指標ア 成果指標イのタイプ	
【コメント】 (低下の場合、その理由)		数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	
		成果動向	
		ア Δ 0.9 0.4 1.1 Δ 0.2 0.9 イ 131 Δ 80 33 Δ 23 31	
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)		時期 平成28年10月 内容 ニーズを踏まえた講演を企画する	
		今後の方向性 1月 講演会などは、参加者のニーズにあった企画を検討する。	